

## ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年5月1日

【2018年4月21日～2018年4月27日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、米国の長期金利が上昇したことを受けて、新興国市場などの高リスク資産への需要が減退したことから、対米ドルで下落しました。しかし、米ドル高・円安も同時に進行したことから、ブラジル・レアルは対円では横ばいとなりました。一方、債券市場では目立った材料がなく、2年国債金利はほぼ横ばいの動きとなりました。

経済指標では3月の失業率が13.1%と発表され、事前の市場予想や前回2月分の数字よりも悪い結果となりました。失業率の上昇は、年末年始にかけて創出された非正規雇用が打ち切られたという季節的な要因が大きいとみられるものの、個人消費の悪化を通じて景気回復ペースを鈍化させる可能性が懸念されます。

政治情勢では、大統領選に向けた政党間の提携の動きが始まりました。現地紙報道によると、テメル大統領（民主運動・MDB）は中道勢力の結集を目指すため、自らの出馬については断念した上で、民主社会党（PSDB）の大統領候補であるアルクミン氏に対して、メイレス前財務相（民主運動・MDB）を副大統領候補とした提携を提案した模様です。

### 【2】今週の見通し

今週は3日（現地、以下同様）に発表される鉱工業生産が注目されます。市場予想は前回2月分に比べて小幅に改善した水準となっていますが、これを下回る結果となると景気回復の弱さが決定的となり、通貨安や金利低下といった市場の反応が予想されます。

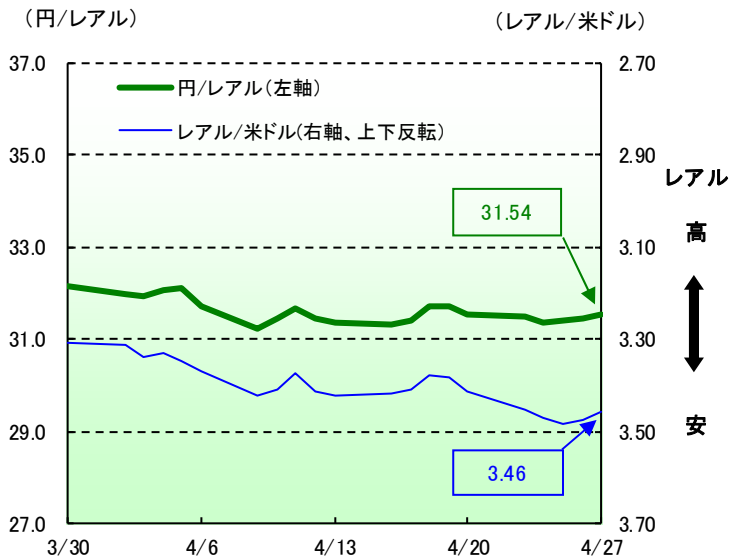
また、米国の長期金利上昇が新興国市場に対する投資家のセンチメントを悪化させ、ブラジル・レアルの下落をもたらす可能性には、今週も引き続き注意が必要です。

政治情勢につきましては、政党間の提携の動きや、大統領選の有力候補の発言内容に一定の注目が集まるものと想定しています。

なお、1日はLabor Day（レイバーデー）のため、ブラジル金融市場は休場となります。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

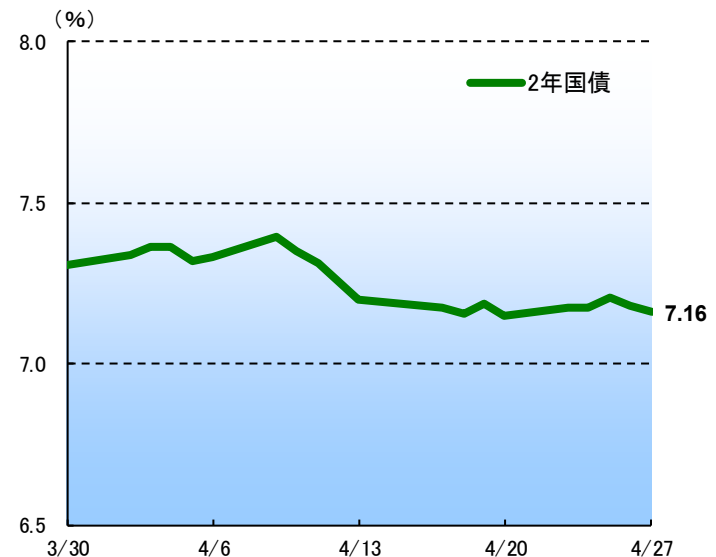
（2018年3月30日～2018年4月27日）



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

（2018年3月30日～2018年4月27日）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>